

令和元年7月7日執行 白河市議会議員一般選挙選挙公報

白河市選挙管理委員会

「老後2千万円必要」とんでもない
「減らない年金」
底上げを

国保ためこみ金10億円いかし
国保引き下げを

給食費を無料に(国市折半で市予算の0.5%で済ませます)
ごみ袋代を無料に(市予算の0.2%で済ませます)
消費税10%中止、原発ゼロ―サヨナラ安倍政治を

1世帯1万円
引き下げ約8千万円

●1953年白河市生まれ
●白一小、中央中、白河高校、
福島大学経済学部卒
●1997年から白河市議(6期)

深谷 ひろし
日本共産党

事務所 白河市四ツ谷4 電話0248-21-0105

ともにつろう白河
須藤ひろゆきのめざすもの

- ◆安心して子どもを産み育てることができる環境づくりをめざす
- ◆白河らしさ・よさ・「仁」のこころを伝え、誇りもてる教育環境の充実をめざす
- ◆小峰城・白河駅周辺の中心市街地のさらなる整備を進め、街なかの賑わい創出と新しい白河の顔づくりをめざす
- ◆文化施設や集会所の有効活用と文化芸術活動の支援を進め、文化の向上をめざす
- ◆医療・福祉の更なる充実をすすめ、安心・安全な生活環境づくりをめざす
- ◆地域社会の担い手である中小企業・小規模企業への支援、産業振興をすすめ、働く場の確保をめざす
- ◆各町・各地域にある足元の資源を見つめ直し活用しながら均衡ある発展をめざす
- ◆災害に備えた施設整備と町内会・消防団への更なる支援をすすめ、災害につよい街づくりをめざす

須藤ひろゆき
昭和二十九年三月四日生まれ
白河中央中学校PTA元会長
白河青年会議所三十五代理事長
白河市議会議員(元市議会議長)

継承! 実績! 発展!
暮らしやすく 住みよい
魅力ある地域づくり

みずのや正則は約束します。

- 暮らし
 - 子育て支援や高齢者の医療体制の充実
 - 防災対策及び消防・救急体制の強化
 - 安全で利便性の高い道路整備の充実
- 経済
 - 足元の資源を生かした魅力ある地域づくり
 - 農業・工業・商業・観光業の復興
 - 人口減少対策の推進
- 教育
 - 歴史や伝統文化の保存・継承を推進
 - 教育環境の充実・スポーツ・文化芸術の振興
 - 未来を担う人材育成の実現を推進

みずのや 正則
昭和三十三年五月二十五日生まれ
旧東村議会議員 三期
白河市議会議員 三期
白河市議会議員 三期
ひがし赤十字奉仕団副委員長

北野ただみち
政治は結果責任の世界である。
どんなに立派なことを並べても実行
できなければ風前の灯である。
北野ただみちは、市民の声を
火の玉となって市政に反映させます。

北野ただみち
プロフィール
職業：会社役員
白河市議会議員
白河地方市町村圏整備協議会議員
大信土地改良区副理事長
白河市農業委員会委員

〒969-0903
白河市大信下小屋字日籠8
TEL 0248-46-2911
携帯 080-1670-1142

増税+増税+増税
市民の生活は先!
市民の生活は先!
市民の生活は先!

プロフィール
●白河市年賀町生まれ
●第三小学校・中央中学校卒
●白河高校理数科卒業
●日本大学法学部(夜間)
●旧大蔵省関東財務局
●大竹タンス店
●白河市議会議員5期

大竹 功
55歳
おたけ 功
こういち

市民との8つの約束

- 1 人生100年時代! 福祉の街づくり
- 2 子どもの命と権利を守る
- 3 脱原発の継続
- 4 税金の無駄使い防止
- 5 議会改革
- 6 身を切る改革の継続
- 7 市内の犬猫殺処分ゼロへの施策推進
- 8 活動報告書「はってん」年6回新聞折込発行

選挙公費(税金)を使わず、選挙をします

少子高齢化社会に立ち向い
白河の活力を高めます!

「高齢者」が健康で、元気に生活できるまち

- ◎活動範囲を広げる公共交通機関の整備
- ◎健康寿命を延ばす生きがいづくり

「子供」が安全で、元気に生活できる環境

- ◎学校教育施設・社会教育施設の整備
- ◎地域活動型文化クラブ・スポーツクラブの整備

少子高齢化問題は、全国共通の課題であり、そして、地方創生は待ったなしの課題です。全国の市町村が首都圏からの移住・定住者の取り合いであり、そのための知恵比べですが、白河は、首都圏に近く、新幹線や高速道路などの高速交通体系があるメリットがあります。私は、これまで、公私に亘り、学校教育、社会教育、文化活動、観光振興、高齢福祉、情報化推進、町内会など、幅広く「地域づくりの活動」に関わってきました。その経験を活かし、市民を元気にして、白河の活力を高めるため、全力で地方創生に向けた事業に取り組んで参ります。

いわさき 岩崎よういち
青山学院大学卒業
元白河市産業部観光課長
元白河青年会議所理事長
元白河中央中学校PTA会長
会津町町内会長
高齢者サロン「立教館」サポーター

白河の課題は子ども減少

県統計課資料によると合併前小中学校児童は1,417人、人口は5,368人が減少しました。この小中学校児童1,417人の減少は旧三村の合併前の小学生1,137人(表郷村448人、東村408人、大信村281人)を超える減少になります。今を生きる私たちは後世により遺産を引き継ぐ責任があります。このまま子ども減少を許せば「白河の新しい世代」に誇れる遺産を引き継ぐことができません。

しばはら隆夫
プロフィール
* 私立白河高等学校卒業
* 法政大学卒業
* 日本赤十字社救急法指導員
* 白河中央中学校元PTA会長
* 第87回ボストンマラソン出場
* 徒歩による東北一周
* 福島県団体に上級指導員

《子ども減少・Q&A》
Q 白河の子どもの減少の典型的な学校例でお話できますか。
A 福島県一のマンモス校であった白河中央中学校はピーク時には約1,800人もの生徒がいましたが、現在はわずか464人です。信じがたい減少です。
Q このまま子どもは減りつづけるのでしょうか。
A 困ったことに、今も底なし沼のように減りつづけています。
Q 何としても子ども減少に歯止めをかけなければ白河が最大の危機に直面する時がやってきます。悲観的なことを論ずるよりも、それぞれが一致団結して解決策を探り、この大変な課題に身を投じてみようではありませんか。

子育ての現実を
市政に届けます!

- 1 議員・議会 議員の見える化に努めます
○SNSでの活動発信、チラシによる定期的な活動報告
○子連れOK・途中退室OKなタウンミーティングを開催
- 2 子育て 安心して子どもを産み育てる街
○妊産婦の医療費助成を目指します。
○子ども、子育てをする方の居場所を確保し、子どもの貧困などの声に出来ない子ども達の現実立ち向かいます。
- 3 少子高齢化対策 経済安定・婚活事業の拡充
○若者や子育て世代の経済的不安が少子化を招いていると考え、家賃補助制度の見直し、最低賃金の引き上げに尽力します。
○人生100年時代、高齢者の福祉充実・経済安定に努めます。
○市内の婚活事業の活性化に取り組み、既婚率を上げます。
- 4 教育 教育者のマンパワーを増やします
○複数担任教育(保育)を行うことで若い先生が優秀な先生から学び、教育の質の向上ならびに、いじめ問題等の早期発見、改善につなげます。
- 5 暮らしの問題 高いゴミ袋・プラゴミ問題
○ゴミ問題に着目し、その原因究明と改善に努めます。

大木えり
無所属・新人32歳二児のママ
現役保育士・幼稚園教諭

その他、働く世代への政策もあります。
大木えりは皆さんが本当に必要としていることを議会に伝え、暮らしに反映させます!

詳しくはHPをご覧ください。
oki-eri.com

福島県須賀川市出身
1986年11月27日生まれ
A型・いて産

みなさまの声をチカラに日々全力挑戦!

- 1 交通弱者のための交通網の大勢づくり。
- 2 防災・減災対策の取り組み。
- 3 いじめや不登校などの悩み相談の環境作りを推進。
- 4 低出生体重児のための母子手帳作成の推進。

提案力 実現力 No.1 KOMETO 公明党

私のプロフィール
◆昭和40年2月9日生まれ
◆白河第二小・第二中・県立白河実業高校商業科卒業
◆伊藤会計事務所勤務・退職
◆平成23年白河市議会議員(現在2期目)
●家族:母・妻 ●趣味:映画鑑賞・カラオケ
●好きな言葉:感謝・挑戦
●好きな書物:レ・ミゼラブル
●尊敬する人:野口英世

伸むるい
しんいち
(54歳)

「築きます! あなたの一票 白河市」

投票日 7月7日(日)

午前7時から午後6時まで

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和元年7月7日執行 白河市議会議員一般選挙選挙公報

白河市選挙管理委員会

元気いっぱいの白河を次世代へ!

①「子育てするなら白河市」
子育てが楽しくなるまちづくり
・学校給食、教材、予防接種の無料化を推進。
・通学路へガードレール・防犯カメラ設置。

②必要な人にサービスが確実に届くまちづくり
・交通弱者への支援対策を検討・実施。
・難解な行政文書を市民目線に簡素化。

③「人口減」を少しでも抑えるまちづくり
・福祉、子育て支援について県内で先進を堅持。
・子どもから高齢者までが集える公園・室内遊び場を計画。

④活力と豊かさを維持拡大できるまちづくり
・映画やドラマのロケを積極的に誘致。
・地場産業の後継者育成と起業家支援。

これまでも、これからも、『まちづくり』一直線!!

●昭和47年生まれ 千葉工業大卒業 22年「鈴金旅館」を営む白河商工会議所青年部顧問 福島県商工会議所青年部連合会理事 東北ブロック商工会議所連合会理事 白河方面防犯町消防団団長 鹿嶋祭礼横町社長兼頭 元白河中央PTA会長 映画「ライズ ダブルライザー」でダイスNo.6を演じる



鈴木 47歳
ゆうや

新しい白河の創生のために

一、「白河市の宝」子ども達の未来のために環境づくり。
二、地域を築き上げた高齢者のための生活支援。
三、農業が生き残れるように後継者の育成。
四、商工業の発展のため地域内経済環境の推進。
五、伝統を活かす街づくりを進めます。
六、市政を市民と共に考える新しい強制システムづくり。

戸倉ひろかつ
大信生まれ大信育ち(六十五歳)
県立岩瀬農業高等学校農学科卒業
元県青年海外派遣若人の翼団員
元西白河郡青年団連絡協議会 事務局長
元白河市農業委員会委員



住み続けたくなる街、白河を目指して

●人口減少
人口減少問題は全国的に進んでおり白河も例外ではありません。どのようにして増やすかも課題ですが、まずはどのようにして流出を抑えられるかを課題のひとつとして教育、医療、子育て支援を中心に取り組んでいきます。

●少子高齢化
高齢者や交通弱者の方が車をわずかに使わずに徒歩でも日常生活を送れる様な仕組み作りを提案してまいります。それともなっている街の賑わいや商店街の発展もつながる、様々な提案をしてまいります。また高齢者の方々が活躍できる場を模索してまいります。

●子供の安全
子供に安心安全な環境を提供し続けるために、白河地域からイジメや虐待等をゼロにし、事件や事故に巻き込まれる事がないよう全力で様々な取り組みをしていきます。そのために地域コミュニティの増進を計り、学校と地域の連携を推進し、更なる安全性を高めます。

●農工商
少子高齢化により農工商分野において更に増加すると思われる外国人労働者の方々と地域コミュニケーションに対しての支援、対策に努めます。

●観光・名産品
白河地域が誇るおいしい農産物、蕎麦、白河ラーメン、白河だるま等の名産品を更に全国に広めると同時に小峰城、南湖公園、白河の関等の素晴らしい観光資源を生かした観光客誘致に繋がる提案をしていきます。

市民のみなさんの声を届けます。
昭和40年(1965)6月30日生まれ54歳
●学歴 白河高等学校卒業 横浜商科大学商学部卒業



たかはた 裕
ゆたか

暮らしに希望を 白河からサヨナラ安倍政治を

「老後2千万円必要」とんでもない
「減らない年金」を
●低年金の底上げを

白河の基幹産業 農業を守る
●家族農業支援を

環境まもる再生可能エネルギー転換
原発ゼロ
●国保税引き下げ
●消費税10%中止
●憲法9条を守る

第3子から無料を実現
給食費 全員無料に
●白坂駅にトイレを

略歴 ●1959年生まれ ●新潟大学商業短期大学卒業 ●市議1期。

事務所 白河市北中川原145 電話0248-21-5716



さとう 正則
日本共産党

少子高齢化の時代を勝ち抜き、力強い白河市をつくりまします。

子どもが輝くまちにし、学力を向上させます。

働く場所をつくり、活力あるまちにします。

住み良さが誇れるふるさと白河市にします。

〔略歴〕 国立福島高専卒、前白河市議会議員



高橋 みつあき

6 GOALS for 白河

地域課題解決を一緒に

- 住民が「まちづくり」に参加できる仕組み
①地域の課題解決する「住民自治組織(〇〇まちづくり協議会)」の創設を推進
②そのための「一括交付金」まちづくり予算制度の創設
③「女性まちづくり協議会」や「若者まちづくり協議会」の独自の創設
- 地域産業振興、地域内経済循環の推進
①地元中小企業支援、農業種連携等を目指す「中小企業振興条例」の制定
②地産地消、先給技術導入、農工商連携等を旨とする「農業・農村基本条例」制定
③地域内経済循環(企業農家が生まれ出たお金が利益をもつて再び戻る仕組み)
- 子どもを地域で育てるまちへ
①「子育てにやさしいまちづくり条例」の制定と「白河版ネーボラの実現
②子どもの貧困対策、虐待防止、障がい児支援「子ども家庭総合支援拠点」創設
③学校、地域住民、家庭が協力する「コミュニティスクール(地域連携型学校)」の実現
- 福祉・保健・医療の拠点創設推進
①「福祉のまちづくり条例」の制定と市内各地に「まちの福祉・保健室」の創設
②住民自治組織が運営する「高齢者サロン」「子育てサロン」等の居場所の発展推進
③福祉としての地域公共交通を実現するため、交通弱者の移動手段の柔軟な確保
- 多文化共生のまちづくりの推進
①「国際交流・観光と多文化共生のまちづくり推進条例」の制定
②東京五輪をきっかけとした外国人観光客のためのSNS等の発信
③外国人労働者とその家族に対する地域情報の多言語化、学習支援、相談窓口設置
- 地域の再生可能自然エネルギーを活用推進
①「地域再生可能エネルギー基本条例」の制定と地域住民の取り組み支援の実現
②「市民共同発電プロジェクト」の実現
③温室効果ガスの削減を推進し、自然環境と調和するエコシティ(環境共生都市)の実現

荒井 ひさお
滋賀大学名誉教授
鹿島自治会副会長
本沼花見山づくり委員会
しらかわ市民活動支援会副理事長
小規模多機能自治推進ネットワーク協議会議員



荒井 ひさお

経験と実績のある 山口こうじに 任せてください!!

みんなで取り組むべき介護の5つの問題
高齢化社会を生きる我々一人一人が真剣に考え、取り組むべき課題です。
今回ご紹介した介護の5つの問題は、決して他人事ではありません。議員として、真剣に取り組む課題と考えております。

介護難民 (介護が適切に受けられない高齢者)
介護における5つの問題
成年後見人トラブル
高齢者の虐待問題
高齢者の一人暮らし

次世代のために
子どもは地域の宝です。のびのびと健やかに育つ環境が大切です。
そのためには子育て世代の問題解決に取り組まします。また、地元で就職し、活躍する若者にとって魅力ある「しらかわ」をつくりまします。

山口こうじ (65歳)
●昭和29年1月生まれ 市内巡り矢に生まれる
●昭和51年日本大学農学部卒業
●白河市議会議員(通算5期)
●白河市議会副議長(平成21年~23年)
●白河自治会副会長(平成29年~)



山口 こうじ

心ふれあう市政

- 産業の振興と安定雇用の促進
●既存企業や地場産業への体制強化
●企業誘致による働く場の創出
●農産物のブランド化
●農業経営の安定向上
- 地域防災の充実
●自主防災組織の確立
●消防団資機材の充実
●防災減災基盤の整備
- 少子高齢化に対応した福祉の充実
●子育て支援と教育環境の充実
●お年寄りが夢や希望をもって暮らせる福祉の充実
- 住環境の整備
●生活道路、歩道の整備
●交通難所のバイパス化
- 健全な行財政
●行財政改革による住民サービスの向上
●社会資本の計画的更新
●財政効果のある事業への積極的な投資

藤田 文夫
●昭和三十年五月八日生まれ
●陸上自衛隊第六特務連隊勤務(昭和四十九年~五十二年)
●白河市議会議員(四期)
●白河市議会副議長(二期)
●白河市議会議員(二期)
●白河市議会議員(二期)
●白河市消防団副団長兼表町方面隊長
●白河市議会議員(二期)



藤田 文夫

前回、三十三年余り勤務した農協を退職後立候補し、初当選させて頂きました。これまで、私は、農協職員経験を活かし、様々な農業振興策の提言をして参りました。現在の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や、後継者がいないため離農する農家が年々増加しております。そのような現状を踏まえ、耕作放棄地の発生を防ぐため、借り手側の確保や育成が喫緊の課題であり、具体的な対策としては、農業法人の設立に向けた、農業技術、経営に関するノウハウを取得できる研修施設の設置や、IT技術を活用した生産性の向上を図るための対策について、提言し、農業振興に取り組んで参ります。

また、白河市における人口減少は止むことがならず、本市の喫緊の課題と考えます。二十一年で約五千人が減少しております。何とか、現状維持が図られるよう、子育て支援策の更なる充実、地域おこし協力隊制度の積極的な活用を提言して参りたいと思っております。

更には、高齢者にやさしいまちづくりのための「福祉環境の充実」、白河市の豊かな「自然環境の保持」、地域活性化のための「地域ボランティア団体との連携」等に取り組む、市民のみなさんが、この「白河市に住んでいてよかった」と思えるような「まちづくり」のため一生懸命働かせていただきます。

氏名 根本 けんいち
生年月日 昭和三十八年七月十四日
年齢 五十五歳
職業 農業



根本 けんいち

「築きます！ あなたの一票 白河市」
投票日 **7月7日(日)**
午前7時から午後6時まで

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和元年7月7日執行

白河市議会議員一般選挙選挙公報

白河市選挙管理委員会

未来のための



「築きます！ あなたの一票 白河市」

白河の明るい未来をめざして

たすけあい
おかげさま
ありがとう

で笑顔の輪を広げよう！

私 佐川京子は 白河人であることを誇りに思い
住み良く 子育てしやすく 市民みんなが
明るい未来を信じて 生き生き暮らせる
そんな白河の明るい未来をめざして
懸命に働きます



みなさまのお力を
お貸しくださいます様
心からお願い申し上げます



さがわ きょうこ
佐川 京子
昭和36年3月生
無所属・現・白河市議会議員
KUMON五輪教室指導者
白河青年会議所シテクラフ元会長
白河商工会議所女性会会長

大きな花を
咲かせよう！



① 教育・文化・スポーツの推進

- 切れ目のない子育て支援の充実
- 中央中学校区内に新しい公民館の早期建設
- 生涯学習社会に対応した体育文化施設の整備充実
- 陸上競技場ナイター照明・市民プールの改修

② 生活環境の確保

- 市道金勝寺～大谷地線道路（国道4号線まで延長）
- 住友ゴム工場株白河工場&白河厚生総合病院の周辺整備
- 北部地区の活性化（国道4号線の4車線化）
- 生活道路・側溝・街路灯・集会所・屯所の整備
- 道の駅を国道4号線又は南湖に早期建設

③ 医療介護福祉の充実

- 夜間こども救急医療の充実
- 在宅介護の充実・保健サービスの整備充実
- 高齢者にやさしい人が集まるまちづくり

おおはな
大花つとむ
(69歳)
★昭和二十四年十一月一日生まれ
★白河市立白河第一小学校卒業
★白河市立白河中央中学校卒業
★白河大学東北工業高等学校卒業
★白河大学経済学部経済学専攻卒業
★白河大学経済学部経済学専攻卒業
★白河大学経済学部経済学専攻卒業
★白河大学経済学部経済学専攻卒業

投票日

7月7日(日)

投票時間

午前7時から午後6時まで

あなたの大切な一票
棄権しないで
投票しましょう。

未来のための



「築きます！ あなたの一票 白河市」

白河市議会議員一般選挙

白河市選挙管理委員会・白河市明るい選挙推進協議会

☎ 0248-22-1111